

刊行にあたって

京都府立大学文学部歴史学科では、京都府下を中心に、地域の歴史や文化遺産に関する研究をおこない、その成果を文化遺産叢書として2008年度以来公刊してきた。その第22集となる本書は、京都市北区雲ヶ畑地区に関する科学研究費補助金「聖地・霊場の成立についての分野横断的比較研究」の成果をまとめたものである。京都市では、本叢書同第18集『京都東山・三嶋神社文書調査報告』（2019）、第19集『京都雲ヶ畑・波多野六之丞家文書調査報告』（2020）、第21集『京都山伏山町文書調査報告』（2021）の他、『京都地域情報・文化遺産データベースの展開・活用―「郡村誌」の地図化と二ノ瀬・岡崎を事例に―』（2014）、『上賀茂神社・上賀茂地区の地域史研究』（2015）につづく6冊目の調査研究の成果となる。

本書には、数年間にわたる共同研究のなかで実施した、雲ヶ畑地区の写真資料調査の成果、研究をまとめている。この調査では、写真資料所蔵者や雲ヶ畑地区の方々のご協力をいただいている。大学のみでは、調査範囲・方法が限られることも多く、このような地域との連携・協働が文化遺産の調査・活用では重要となる。

雲ヶ畑では、波多野六之丞家文書、旧雲ヶ畑村役場文書の調査を継続しており、今後一層、調査・研究・活用を進めていきたい。

京都府立大学文学部歴史学科